



2022 年 4 月
茨城学習センターだより 第80号

もくじ

巻頭言	1
退任の先生からのご挨拶	2～3
新任の先生からのご挨拶	4
学位記授与式	5
名誉学生表彰	6
入学者の集い	6
ライブラリー講演会	7
ゼミのお知らせ	8～9
サークル紹介	10～11
スケジュール・事務室からのお知らせ	12

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)
TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685

新所長就任の ごあいさつ

放送大学茨城学習センター所長 小野寺 淳



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在学生の皆さん、春を迎え、心新たに新学期を迎えられたことでしょう。放送大学茨城学習センターのある水戸市では、こぼれる梅に咲き誇る桜が同時に見られる場所もあり、ロシアによるウクライナ侵攻がたいへん心配ではありますが、暖かな春を迎えようとしております。

佐藤和夫茨城学習センター長の後任として就任いたしました小野寺淳と申します。専門は地理学の一分野である歴史地理学です。主に18世紀から19世紀にかけての地図製作の変化を研究対象としています。この時期、日本は様々な地図が製作され、また写され、世界で最も多くの地図が製作された時代と考えられます。なかでも常陸国・下総国では長久保赤水や伊能忠敬など、この時期に著名な地図製作者が数多く生まれています。また、18世紀から現代までの都市や村落の地域の変化を研究しています。新任で不慣れではありますが、誠心誠意努めさせていただきますので、皆さん、どうぞよろしくお願い申し上げます。

放送大学では都合の良い時間にテキストをもとに放送で講義を受講するのみならず、地域ブロックごとに学習センターが設けられており、学習の場かつ交流の場として活用されてきました。しかし、これまで2年以上もの間、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染の広がりにより、茨城学習センターでも閉鎖や行事、ゼミ、サークル活動の自粛などの処置をせざるを得ない状況が続いております。まだまだ感染の収束には至りませんが、少しずつ勉学やサークル活動などに力を入れていただけるよう、茨城学習センターでも感染防止に引き続き取り組んでまいります。佐藤前所長をはじめ、歴代所長が取り組んでこられた試みを継承しつつ、地域社会との連携をより密接にするとともに、ゼミやサークル活動の支援もはかりたいと思います。茨城学習センターを活用していただき、充実した学園生活となられることを願っております。

所長 退任のごあいさつ

佐藤 和夫



所長に就任して早4年。まさに「光陰矢のごとし」です。1999年3月から2000年1月まで在外研究の機会を得て渡独し、その帰国の折、借りた部屋の大家さんが《Zeit vergeht schnell》(時の経つのは早いねえ)と別れを惜しんでくれたのを思い出します。もっともその時もヨーロッパは平穏ではありませんでした。出発の日の前年から続いていたコソボ紛争でNATOがセルビアに空爆を開始した日に重なります。最初の目的地のドレスデンでそのことを知り、ヒヤリとしました。この空爆は6月11日まで4ヶ月に渡りました。

それはさておき2018年の就任の時点では個人的には平穏な日々でした。学習センターの入っている建屋の前で咲き誇る桜を背景に、大学のサイトに載せる写真を撮ってもらいました。同時に就任した大森宏之事務長とともに茨城大学を始め県内の学校や水戸市内の公的団体に挨拶に回りました。特にNHK水戸局の代々の局長さんには親身な応対と協力をいただき感謝に堪えません。茨城県立図書館との共催によるライブラリー講演では多彩な講師陣にご登壇いただきました。中でも強く印象に残っているのは筑波大学名誉教授の今井雅晴先生による親鸞の講演です。大ホールに入りきれないほど聴衆が詰めかけてくれました。この時点では翌年に始まる感染症の猖獗など思いもよらないことでした。

所長は学生からの相談を受けるのも仕事ですが、当事者の期待に添うことができずに失望させたこともあります。幸いヘビークレーマーはおらず、概ね穏やかで楽しい日々でした。これもひとえに支えてくれた学習センター職員一同のお陰です。特に楽しかったのは学生研修旅行です。長瀨を訪れたときは2021年度名誉学生として表彰された前島寿子さんが身軽にひょいひょいと歩いておられたのが目に浮かびます。企画・運営に貢献いただいた学友同窓会、ふるさと探勝会の皆様には深く感謝いたします。

4月からはゼミの講師として、また学生として学習センターにお邪魔します。どうぞよろしくお願いいたします。



— 退任のご挨拶 —

前茨城学習センター客員教授
常磐大学名誉教授

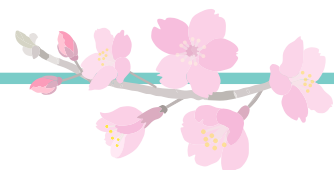
渡邊 孝憲



2017年4月から5年間お世話になりました。後半はコロナの影響で面接授業が行えなかったり、ゼミもお休みせざるを得なかったりして少し不完全燃焼の感があるのが残念でした。学生の皆さんもどんな気持ちで過ごしていられたのだろうと気になっておりました。

面接授業では、基本的なことや重要なこと、それに関して私が考えていることを2日間という短期間で理解していただきたい、と結構準備したつもりでしたがどれだけお伝えできたか毎回不安でした。一方ゼミは月1回でしたが、メンバーの方とまさにグループカウンセリングのように、お互いがお互いのことばを大切に、しかも毎回お互いが話したことを1か月間大切に温めて次回に臨むという濃密な関係を築けたと思います。このように対照的なことを経験できた5年間でした。教員生活の最後にかけてえのない経験をさせていただけたなあと感慨深いです。

振り返ってみれば、初めにお世話になったのは、埼玉大宮の学習センターでした。あれから30年が経ち、カリキュラムも随分拡充され、履修の形も整えられたなあと感じます。これからも、学びたい人がいつでも学べる場を提供できるセンターとしてますます充実していかれることを希望いたします。



前茨城学習センター客員教授
茨城キリスト教大学看護学部教授

辻 容子



前任の先生が退職するにあたり客員教員のお話をいただき、5年間勤務いたしました。ゼミ、面接授業、ライブラリー講演会では大変お世話になりました。講演会は2回担当し、茨城県立図書館の視聴覚ホールがほぼ満席となり、するどい質問を頂くなど県民の健康に関する意識が高く、常に向上や成長を目指していることが伝わってきました。

初回のゼミでは、ゼミ生のほぼ全員の方が私よりも年齢が高く、驚きと共に生涯学習の場であることを実感いたしました。健康生活について、WHOの定義や個々の生活について考えるなど、ゼミ生の生活に刺激や笑顔のある時間のひとつとしてゼミを開催してまいりました。ここ2年間は、ZOOMの手法を学修され、毎月オンラインゼミを開催することができたことに改めて学習意欲が高いゼミ生から、こちら学ぶことが多かったです。最後のゼミでは、人生120年時代！という話で盛り上がりましたが、学修することに年齢制限はありません。学生の皆さまには、どのような状況下でも知性を活性化することを続けていただければと思っております。

最後になりましたが、前センター所長の横沢正芳先生、現センター所長の佐藤和夫先生、茨城学習センターの職員の皆様に心より感謝を申し上げます。

— 新任のご挨拶 —

茨城学習センター客員教授
前常磐大学大学院人間科学研究科教授 / 専門分野：臨床心理学

水口 進



はじめまして、今年度から客員教授を務めることになりました。私は心理臨床の仕事をしてきました。昭和58年に秋田県に小児療育センターが開設されました。その初代職員として平成16年まで、23年間、勤務しました。診療部臨床心理科長(兼)通園訓練部施設長補佐、これが療育センター退職時の私の役職です。これを見るだけで私が何をしてきたか想像できると思います。私の専門は障害児臨床です。平成16年に常磐大学に赴任しました。昨年度まで常磐大学大学院人間科学研究科で臨床心理士、公認心理師の養成に務めてきました。秋田時代の平成9年から現在までスクールカウンセラーも務めてきました。障害児臨床、学校臨床の中で心理査定(心理検査)をしたり、カウンセリングをしたり、地域援助をしたりしてきました。みなさんに、私のこれまでの経験から得たことをお伝えできればと思っています。昨年12月、私は日本精神衛生学会の会長を務めました。「豊かな虚の世界を求めて」。これを大会のテーマにしました。豊かな虚。虚は想像的な(創造につながる)自分の世界です。一緒に豊かな虚の世界を構築していきましょう。豊かな虚の世界が豊かな実の世界を支えます。

茨城学習センター客員教授
茨城大学教育学部教授 / 専門分野：衛生学・公衆衛生学

瀧澤 利行



4月1日付けで放送大学茨城学習センター客員教授を仰せつかりました瀧澤利行と申します。国立大学法人茨城大学教育学部の教授を務めております。専門は、衛生学・公衆衛生学、保健福祉論、学校保健論などで、合わせて基盤教育では「日本の医療史」などを担当しています。

私自身、放送大学とはご縁が深く、2004年から10年以上にわたり放送大学本部の客員教授を務めておりました。恩師である多田羅浩三先生(大阪大学名誉教授、放送大学名誉教授)とともに、「公衆衛生」(学部)、「健康科学」(大学院)の授業を担当いたしました。テレビでの収録、ラジオでの収録を千葉の幕張にある本部でほぼ1年にわたり経験し、放送番組づくりの苦労と面白さを体験したとは忘れることができません。そこで経験しなければ知らずに過ごしてしまったことは数知れません。例えば、落語では「四代目」「九代目」を「よだいめ」「くだいめ」というとか、「10分」は「じゅっぷん」ではなく「じっぷん」と発音するのが望ましいなど当時40歳をいくらか過ぎていましたが知らずに過ごしていたことを学ばせていただきました。

新しく学習センター長に就任された小野寺淳先生とは、教育学部でともに評議員として仕事をさせていただいた間柄です。何か楽しい企画などを考えていければいいなと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

茨城学習センター客員教授
茨城大学教育学部教授 / 専門分野：日本史学

千葉 真由美



本年度から客員教授としてお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。歴史という分野は、たくさんの方々に興味をもっていただける分野ですが、そうであるからこそ、不確かな情報を出すことのないように、十分に気を付ける必要があると考えています。近世は史料の量も膨大であるため、どれだけ多く、また正確に読み込むことができるかが問われます。歴史の研究はこういった地味な作業の繰り返しでもあります。

特に私が研究テーマとしている内容は、多くの人が知るような著名人はほとんど出てきませんが、人々のくらしの積み重ねの先にある、強い意思や努力を感じることができ、さまざまな発見もあります。学生時代は史料を読む、古文書を読むことは大変だと感じていた私ですが、今やその時間が一番楽しいとさえ思うこともあります。史料解読という苦労の先にある、新たな発見のおもしろさをぜひ体験して下さい。みなさんと一緒に、しっかりと史料に向き合える時間ができると思うと、とても楽しみです。

ご卒業おめでとうございます

東京都墨田区の国技館において、令和4年3月23日(水)に令和3年度放送大学学位授与式が挙行されました。茨城学習センターからは、第2学期学部61名の方々がご卒業され第1学期と併せ、97名の方々が長い教育を終えられました。これまでのご努力と成果に敬意を表し、新たな歩みを進められますことを、心よりお祝い申し上げます。



卒業生 メッセージ

遡ること約11年前に入学しましたが、休学や仕事の都合で単位試験を受験することができない時期もありましたが、その結果、大学で学んだ教養がブーメランのようにたくさんの知識となって、今の私に返って来ました。険しきに挑み、諦めず、最後までやり遂げた先には、大きな喜びがありました。

放送大学で学んだことを今後も精いっぱい挑戦して生きて行きたいと思います。

茂垣 昌雄 社会と産業コース卒業

高校を卒業してから社会人11年目の平成19年に入学しました。当初は仕事が多忙で、思うように単位が取れず挫折しそうになりました。しかし、諦めずに学んでいこうと心に決め、一歩ずつ前に進んで来ました。途中で仕事も転職しましたが、放送大学での継続した学びが新たな道を示してくれたように感じています。

15年での遅い卒業になりますが、教養の学位をいただいた事に感激しています。

最後に家族と放送大学関係者に感謝の意を表します。ありがとうございました。

鈴木 健介 社会と産業コース卒業

私が放送大学に入学したのは6年前の定年退職後3年が過ぎたときでした。これまで興味を持ちながらもなかなか入り込めなかった歴史、政治、気象、天文などの分野について深く知りたいという思いから入学しました。

また、面接授業として県内や県外で組まれた幅広い各分野の専門の先生方と直接対面しての授業は楽しく、そして多くの刺激を与えてくれた経験でした。

お陰様でこの度卒業というひとつのゴールに達しましたが、今後は「社会と産業コース」に継続入学し、未知への探求心をもって勉強を続けて行きたいと思っています。

飯島 孝夫 人間と文化コース卒業

入学前は「通信制大学は1人で頑張るしかないのかな」と不安を持っていました。しかし、実際はサークルやゼミに加え「オンラインの交流」も盛んでした。SNS上で勉強を励ましあったり情報交換ができたおかげで、私も無事に卒業することが出来たと感じています。

大学関係者の皆様や全国の学友に心から感謝しています。

遊佐 悠貴 生活と福祉コース卒業

ようやく卒業という言葉を受けました。10年の歳月がかかりました。本当にうれしく思います。

新しい科目を学習するたびに、テキスト、パソコンを何度も、何度も、何度も、見て、聞いて学習しました。未知の世界に踏み込んで、知らないことを、次々と知っていくワクワク感を持ってました。

新しい知識を得る喜びをもう少し続けたいと思い、再入学をします。

井ノ口 勝子 心理と教育コース卒業

私は、心理学に興味があり日々の生活の支えになる知識を身につけたいと思い、放送大学に入学しました。面接授業では、先生と対面して講義を受けることでより理解が深まり、学ぶ楽しさを知りました。6年間、家族や大学関係者の皆様に支えていただき無事卒業することができました。心から感謝しております。

稲田 知美 心理と教育コース卒業

仕事をしながらも勉強する環境を与えてくれた、放送大学・講師の先生方に感謝いたします。また、勉強することを理解してくれた家族にも感謝です。これからも感謝の気持ちを忘れず生活していきます。放送大学関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

野上 智史 心理と教育コース卒業

高校卒業してすぐに働き始めた私にとって、大学卒業は大きな目標でした。しかし、働きながらの勉強は想像以上の困難であり、卒業までに10年以上を必要としました。途中、入学してしまった事を悔やむ時もありましたが、今となっては恐れずに一歩踏み出した当時の自分を褒めてあげたい気持ちです。放送大学の皆様には長くお世話になりました。ありがとうございました。

塩家 洋一 自然と環境コース卒業

— 名誉学生表彰 —

放送大学では、教養学部全コース(又は専攻)を卒業した全科履修生の方で、人物、学習態度が良好で特に優秀な学業成績を修めたと認められる学生に対し、「放送大学名誉学生」の称号をお贈りし、表彰状及び副賞の授与を行っております。この度、前島寿子さんが全6コースを終えられ、名誉学生の称号を付与されました。その栄光と喜びを称え、心よりお祝い申し上げます。

卒業に当たり、改めて「学び」を考える

前島 寿子

「生涯学習」と言われるように「学び」は生きている以上生涯続きますが、私の経験から考えますと、幼児期から小学校、大学前半迄と大学後半より社会人として、又退職後の第二の人生にそれぞれの学びが有ると思います。大学前半までは人間として生きて行くために必要な受動的学びであり、大学後半から社会人としては前半が受動的で次第に能動的に移行し、体験や失敗の中から学び得ました。第二の人生に至り初めて自ら学問に対しての能動的欲求が出て来たように考えます。私の第二の人生で見つけたのは放送大学での学びでした。長い様で短かった放送大学生活も数えてみたら22年間、いつの間にか90歳を過ぎておりましたが此の間、人間関係や環境にも恵まれ、その中にもまた学ぶ事が沢山ありました。学問を初め、沢山の経験の中から「学ぶ」と言う事は、知識として得た物、又体験や失敗の中から得たものが自分の中で一体となり、己のものとして実を結ぶ事であると知りました。



ご入学おめでとうございます

4月2日(土)、茨城学習センターにて「入学者の集い」が執り行われました。「入学者の集い」では、小野寺淳所長による式辞に続き、来賓祝辞、松原輝様から新入生代表挨拶がありました。また、集いの後に予定されていた、学友同窓会による「祝賀茶話会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。



入学生代表挨拶

松原 輝 心理と教育コース入学

本日は、私たちのために入学者の集いを開いていただきありがとうございます。

私は今年で就職して4年目となりました。昔から様々な大人と関わることが多く、上司や先輩方間でうまく立ち回るコミュニケーション力が自身の長所だと思い込んでいましたが、そこに存在する明確な上下関係と敬語に甘えているだけだと最近気がつきました。

昨年初めて直属の後輩ができることになり、自身の吸収したものをアウトプットすることで更に成長できると意気込んでいました。学生時代にサッカー部で後輩を指導することも多かったため、後輩とのコミュニケーションにもある程度自信を持っていました。入ってきた後輩は年齢が上で社会人経験もあるので心配することはないと思っていましたが、それに反して難しい立場に立たされることとなりました。今までは上から与えられた仕事をこなしていれば良かったのですが、今度は同じように歳上の後輩に役割を与えなければなりません。仕事を指導していても教えたことはしっかりこなすことができる後輩ですが、今まで歳上に任せるといった感覚がないこと。任せることで生まれる責任を取るだけの器を持っていなかった私は、あくまで自分主体で動いてしまい、結果自身の負担を大きくしてしまいました。この時私に足りなかったのは、個人を理解し生かすリーダーシップ力だと実感しました。私はそれを身につけたい。そのためには自分自身と相手を理解し、意図を汲み取る能力が必要だと思い、学ぶことを決意しました。



私たちの年齢や職業、入学の経緯は様々ではありますが、学び成長し、何かの役に立ちたいという思いは一緒だと思います。少々長くなりましたが、私たちが学ぶ機会を与えていただきましたことを感謝申し上げ、入学生代表挨拶の言葉とさせていただきます。

ライブラリー講演会

時間 14:00 ~ 16:00

会場 茨城県立図書館 視聴覚ホール

茨城県立図書館 ▶ 水戸三の丸 1-5-38
029-221-5569

主催

放送大学茨城学習センター

お問い合わせ

水戸市文京 2-1-1

茨城大学水戸キャンパス内
029-228-0683

放送大学教授等による講演会を開催します。各分野の最新の話題を聞くことができるまたとない機会です。ぜひ御参加ください。

2022. 4/16 (土)	近世城下町としての水戸の成り立ちとその変化 一武家地を中心に一 放送大学茨城学習センター所長 茨城大学名誉教授	オノデラ 小野寺 淳	アツシ	水戸城は平安末期から鎌倉初期に常陸大掾馬場氏が築いたと想定されている。上杉弾正の乱を機に馬場氏から江戸氏が1427年に城主となり、小田原征伐を機に1594年には佐竹氏の居城となった。佐竹氏の出羽国転封後は徳川家康の子が次々に配されたが、1609年に徳川頼房が就封されると水戸城下の町づくりが行われる。水戸城下の成り立ちと幕末までの変化を、地図史料をもとに武家地と武士の移動を中心に考察する。
5/21 (土)	神道の形成 茨城大学人文社会科学部教授	イトウ 伊藤 聡	サトシ	神道というと、太古から変わることなく続いてきた日本固有の信仰で、自然と融和した日本人の心を体現するものと理解されることが多い。しかし、今日「神道」といわれているものは、歴史のなかで仏教や儒教などの外来思想・信仰の影響を受けていると変化しながら、今日の姿になったのである。本講演ではその形成の過程を辿ってみたい。
6/18 (土)	データ駆動型社会のはなし 放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学理工学研究科教授	ハブチ 羽渕 裕真	ヒロマサ	情報通信ネットワーク技術が進展し、様々オンラインサービスやネットを使った家電制御などが行われようになってきました。そのため、大量で多種類のデータがネット上を流れるようになり、そのデータを解析し活用することによって生活上の利便性やサービスの深化、仕事改革などを考えられるようになってきています。データ駆動型社会のはじまりです。今回は、導入として、ネット事情、データ事情、将来のかたちについてお話しします。
8/20 (土)	水戸の香道 放送大学茨城学習センター客員教授 茨城キリスト教大学文学部教授	ホリグチ 堀口 悟	サトル	水戸藩初代藩主頼房公は、独自の香道手引き書を作成して、後水尾上皇に献上した。当時は、京都貴族に対して板東武士の教養はまだ低く見られていた。そんなときに、水戸という一地方から、香道という高度な香り文化の教科書を、京都文化の頂点に立たれていた後水尾上皇に献じたという事実は、水戸の香文化が高かった事を示すだろう。その後、頼房公の香統は二代光圀公に受け継がれ、幕末に至るまで水戸の香統が続いてゆく。この、一般には知られざる地方文化の姿を、水戸の地で講演させて頂きたいと思う。
9/17 (土)	北畠親房と常陸国 放送大学教授（人間と文化コース） 放送大学付属図書館長 東京大学名誉教授	コンドウ 近藤 成一	シゲカズ	北畠親房（1293-1354）は南北朝時代に南朝を支えた廷臣ですが、1338年から43年にかけての5年間、常陸国内を滞りて東国の武士を南朝の味方につける工作を行ないました。『神皇正統記』を著したのもその間のことです。親房が遺した書状等を読み解きながら、親房の思想と行動を考えてみたいと思います。
10/15 (土)	近世の百姓と印 放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学教育学部教授	チバ 千葉 真由美	マユミ	近世は百姓や町人などの民衆においても、印の所持と使用が一般化した時代です。文書社会ともよばれる近世で、人々は印を自分自身の存在証明と考え、また自らの意思を示す重要なものとして、印を通じて強い主張をするようになっていきます。リモートワークや非対面活動が広がる中で、押印のあり方も問われている現在、改めて「はんこ」の意義について、近世の村と百姓のすがたから考えていきたいと思います。
11/19 (土)	藤沢周平と外国文学 宇都宮大学名誉教授	クジライ 鯨井 佑二	ユウジ	藤沢周平は時代小説の作家であることから、一般的には純日本的な作家と考えられています。しかし、彼の文学の原点はむしろ外国文学にあります。このことは、彼自身がエッセイなどで発言しているにもかかわらずあまり認識されておりません。彼が影響を受けた作品の中からカロッサの「ルーマニア日記」とダビの「北ホテル」を例として取り上げ、この問題についてお話しする予定です。
12/17 (土)	発達障害児についての理解を深めましょう 放送大学茨城学習センター客員教授	ミズグチ 水口 進	ススム	発達障害児には自閉症スペクトラム症（ASD）、注意欠如多動症（ADHD）、限局性学習症（LD）が含まれます。視線が合わない。名前を呼んでも振り向かない、言葉がでない（あるいは増えない）、落ち着きがない、こだわりが強い。こうしたことを主訴に来院するのが発達障害児です。発達障害児をどのように理解し、どのようにかわつたらよいのか。これまでの発達心理臨床経験をふまえてお話しします。
2023. 2/18 (土)	高齢者虐待 現状と課題 放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学教育学部教授	タキザワ 瀧澤 利行	トシユキ	虐待はすべての世代、性別を問わず起こり得ます。社会で注目されているのは児童虐待ですが、お年寄りの虐待も社会に広く、深く広がっています。高齢者の虐待は気づきにくく、また社会的に大きな問題となりにくい傾向があります。高齢者虐待は施設でも在宅でも起りますが、その状況はさまざまです。この講演では、高齢者虐待の状況を知り、高齢者をケアしていくためにはどのような配慮が社会に必要なのかを考えていきたいと思います。
3/11 (土)	保険法と市民生活 一生命保険と相続を中心に一 放送大学教授（社会と産業コース）	リー 李 鳴	ミン	日本では、世界の9割が何らかの生命保険に加入しており、生命保険は市民生活に浸透しています。しかし、保険が相続とも深い関わりがあることは意外と知らないのではないかと思います。本講演では、①保険金受取人が単に「相続人」と指定された場合の解釈、②遺言による保険金受取人の変更を巡る諸問題、③保険金受取人が被保険者より先に死亡した場合の相続関係について、事例をもって保険法、民法等に基づいて説明します。

※都合により日程・会場・内容等が変更になる場合があります。

ゼミの お知らせ

茨城学習センターの歴代所長・客員教授等によるゼミ全14！茨城学習センター所属学生であれば無料で受講できます。興味のある方、途中から参加してみたい方は事務局（Tel.029-228-0683）までご連絡ください。月ごとの日程を茨城学習センターのホームページに掲載しておりますので、確認してください。

茨城学習センターホームページ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>



NEW



『日本の医療と医学の歴史を知る』 たさざわ としゆき 瀧澤 利行 原則毎月第1土曜日 13時30分～

- 概要：現代日本の医学は、世界でも最先端の進歩を遂げていますが、ここまでの発展をみるまでには、中国医学、オランダ医学、イギリス医学、ドイツ医学、そしてアメリカの医学など世界のさまざまな医療文化と医学の影響を受けてきました。このゼミでは、そんな日本の医学と医療の変遷をさまざまな角度からみていくことにします。
- 計画：大きく分けて、江戸時代までの医学の流れと明治維新以降の医学の流れをみながら、前近代の日本人の身体や医学の考え方、オランダ医学の影響、明治維新以降のドイツ医学の影響、感染症と細菌学、結核と日本人、がん日本人、戦争と日本医学、アメリカの医学と戦後日本、麻薬・覚せい剤と日本社会、脳死と臓器移植などを取り上げていきます。
- メッセージ：医療は身近な問題です。しかし、その医療の考え方や技術の一つひとつには人類の長い歴史が反映されています。医学の歴史を知ることによって、自分たちが受けている医療の意味がより広く、深くできるようになると思います。少し難しい問題を取り扱いますが、興味があれば考えてみましょう。

NEW



『近世の史料や古文書を読む』 ちば まゆみ 千葉 真由美 原則毎月第3木曜日 13時30分～

- 概要：江戸時代の村や町の史料を読みながら、当時の社会を学んでいきます。人々の努力や意識を、史料に書かれた語句や文章から丁寧に読み解き、またそれぞれが調べた内容を持ち寄って知識を深めたいと思います。
- 計画：茨城県内にあった村や町を対象に、すでに活字として刊行されている史料の講読から始めます。くずし字の解読も初心者向けの古文書から始めていく予定です。
- メッセージ：くずし字にも挑戦して、古文書解読を進めます。難しいと思うかもしれませんが、悩みながらも楽しんで学んでいきましょう。

NEW



『発達障害について考える』 みずぐち すずむ 水口 進 原則毎月第3日曜日 13時30分～

- 概要：発達障害には自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、特異的学習症が含まれます。それがわかるのが多くは幼児期です。最近では大人の発達障害が話題になっています。幼児期、児童期、青年期、それぞれの時期における発達障害のありようについて、調べ、考え、みんなで話し合い、発達障害についての理解を深めたいと思います。
- 計画：発達障害について、みなさんが今もっている知識を知り、みなさんに調べてほしいテーマを与えます。調べたことを報告してもらい、それに対して私が事例をまじえながら解説を加えていきます。皆さんとの討論を大事にします。また自閉症児を兄弟にもつ方のために書かれた本（英文）を講読する時間ももちたいと考えています。
- メッセージ：発達障害について簡単に書かれた本（新書版）がたくさん出ていますので、数冊読んでみるようにしてください。しかしその知識を深めるには論文を読む必要があります。論文の探し方についてもこのゼミで学んでいきましょう。

『R. Carson: The Sea Around Us. を読む』 あさの よういち 朝野 洋一 原則月2回隔週日曜日 9時30分～



- 概要：海洋は地球上の生命の故郷であり、その豊かな資源は今日まで人類を始め多くの生物の命を支えてきた。しかし、近年はプラスチック廃棄物による汚染が大きな問題となっており、マイクロプラスチックの海洋生物への影響は深刻である。さらに水産資源量の減少、温暖化に伴う海面上昇や海流の変動、原子力発電所からの放射性廃棄物放出など問題が多い。広大な面積と膨大な水量を有し、総てを飲み込んでくれるように思える海洋だが、限界が見えてきた。持続可能な開発目標の一つである海洋についての理解を深めたい。
- 計画：テキストは2018年刊行のOxford UP版を使用。1951年の初版に著者注を加えた1961年版を基にしているため、その後著しく発展した生物・地球・海洋諸科学の知見を参照しながら読む必要がある。日本語訳（「われらをめぐる海」早川ノンフィクション文庫）もあるが、原文を丁寧に読むことを心掛ける。

『園芸生産の持続的な発展について考えよう』 いのうえ えいいち 井上 栄一 原則毎月第4土曜日 9時30分～



- 概要：農業生産のうち果実や野菜などの園芸作物は副食性食品として我々の健康維持に欠かせない品目です。茨城県は全国有数の園芸生産県ですが近年では担い手不足などによる生産者の減少や産地の弱体化に悩まされています。本ゼミでは園芸生産における持続的な発展を妨げる課題について知識を深めるとともにその解決策について議論したいと思います。
- 計画：まず教員から園芸生産の持続的な発展の障害となっている課題について問題提起しその背景について話題提供します。次にその課題について皆で情報収集して解決策を考えます。情報収集の一環として、特色のある取り組みや試験を行っている産地、経営者および試験研究機関などの見学も積極的に取り入れたいと考えています。
- メッセージ：我々の生活に欠かせない野菜や果物などの園芸作物が安定的に供給されるにはどうしたらよいか考えてみましょう。

『城下町水戸における商家の変遷』 おのでら あつし 小野寺 淳 原則毎月最終水曜日 15時00分～



- 概要：水戸城下にあった現在の大町・南町にあった商家を、徳川頼房は1625年頃に千波湖を埋め立てて造成した下町に本町を開設し移転させました。これを「田町越え」と呼びます。こうして、水戸城下の町人地は現在の泉町通り、本町通りの2か所に分かれるという双子町となります。江戸期から現在まで続く商家を特定し、老舗の商家の変遷を調べていきます。
- 計画：水戸城下を歩きながら聞き取りをし、その成果は翌月の学習センターで行うゼミで報告し、情報の共有化を図ります。水戸城下の現地調査は隔月で実施し、ゼミ生の都合の良い日時で設定していきます。
- メッセージ：見慣れた水戸の町でも、歩きながら景観を観察し聞き取り調査をすると新たな発見があります。さあ、町歩きで新たな感動を実感してみませんか。

『ドイツ文学をやさしく読んでみる』 さとう かずお 佐藤 和夫 原則毎月第2木曜日 13時30分～



- 概要：前半で初級ドイツ語の復習をし、後半でドイツ文学の名作をやさしく編集したテキストを読んでいきます。現在のテキストはベートーベンの「第九（合唱）」の作詩者としても知られているシラーの『群盗』（Die Räuber）です。ドイツ語をこれまで未習の方には放送授業「ドイツ語Ⅰ（19）」、あるいは面接授業「ドイツ語の基礎」をお勧めします。
- 計画：前半は文法を中心として初級の練習問題を全員で検討します。後半は近代から現代のドイツ文学作品をやさしく書き改めたテキストを講読していきます。
- メッセージ：「急がず休まず」（ゲーテの言葉）歩みを進めていきましょう

『初歩の統計学(Basic Statistics)』 しおみ まさえ 塩見 正衛 原則毎月第3日曜日9時30分～



- 概要:** 塩見先生と一緒に、統計学の基礎を学びます。統計学も計算用プログラムも一から勉強する絶好のチャンスです。ゼミでは、平均やバラツキの表し方、身長と体重のような連続数、人数や個数など不連続数の扱い方などから勉強を始めます。身長や体重のように関連する2つ以上の形質の相互関係を把握できる手法の勉強などの方法とそのプログラム利用へ進みます。
- 計画:** (1) 4月から、山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎著「Rによるやさしい統計学」(オーム社)をテキストに勉強を始めます(テキストは各自ご準備ください)。(2) 毎月1回のゼミで、上記テキストに沿って、専任の講師が講義を行い、みんなで演習を行います。次の学習内容、日時、場所は事前にE-mailで連絡します。
- メッセージ:** (1) 普段に、アンケート調査や伝染病の広がりなど、新聞で見られる数字をより正確に理解できるようになり、身の周りのデータを自分でまとめたいと思うようになります。(2) 統計学の世界を覗き、フリーの統計言語「R」の学習を手段に、統計にはまり込むまで、応用範囲を広げて下さい。基礎も演習も、先を急がず、じっくり学習します。過去に学んだ経験のある人もどうぞ。

『実用統計学(Advanced Statistics)』 しおみ まさえ 塩見 正衛 原則毎月第1日曜日9時30分～



- 概要:** (1) 統計学の基礎を終えたみなさんと、塩見先生と一緒に、一歩進んだ統計学と手法を学びます。5月からは、今話題になっている「ベイズ統計学」を本気で身につけていきます。ベイズ統計学は、100年以上研究・利用されてきた現在の統計学とは、その基礎概念が少し異なっていて、若者に人気のある統計学と手法です。計算速度の速くなったPCを誰でも使えるようになった恩恵を試してみませんか! (2) 社会現象や自然現象から研究テーマを見つけ、統計的手法を利用して問題解決に取組みます。勉強したい方も、研究したい方も大歓迎です。
- 計画:** 毎月1回のゼミで、豊田秀樹著「心理統計法」(放送大学教材'17)をテキストに、専任の講師が講義を行い、また「統計学」の討論・発表を促します。テキストは「心理…」で始まりますが、心理学に関心のない方も抵抗なく読める「統計学」の本です。
- メッセージ:** 新しい統計学を勉強しながら、自分が持っておられるテーマや疑問を、統計的手法を通じて解決してみようと思われ方はどうぞ! みんなで楽しみましょう。

『やさしい英会話教室』 しらいし まさたけ 白石 昌武 原則毎月第2または第3土曜日9時30分～



- 概要:** 中学校から英語を学んでいるが英語を話せない。文法を気にし過ぎ、中々言葉として出せない。そこで文法などを気にせず、出来るだけ易しい単語を用いて口に出すことから始めよう。例えば: When did you get up this morning? (今朝何時に起きましたか?) I got up at seven. (7時です) のように昔学んだ易しい単語を用い、文章を口に出して他の人に伝える、これが基本です。
- 計画:** しばしば用いられる英語フレーズに基づき、知っている単語を使って短時間で自由に文章を作成し発表する。それについて参加者が英語で自由に質問する。
- メッセージ:** 参加者は50歳から70歳過ぎの方々5～6人で、和気あいあいと楽しくやっています。どなたでもお気軽にどうぞ。

『西洋音楽の伝統的な発声法を研究、身に付け、楽曲に適した歌唱を行う』 たにかわ よしゆき 谷川 佳幸 原則毎月第2火曜日13時30分～



- 概要:** 発声法というものが必要なのかを理解し、様々な発声法について考えます。発声練習を継続して行うことで技術を身に付け、楽曲に適した演奏ができるよう試行していく。まずはイタリア語の曲から始め、日本語の歌を的確に表現できるようにすることを目指します。
- 計画:** 毎回まず発声練習から始めます。ただ音型を繰り返すのではなく、それぞれ何を目的にした練習なのかを理解して取り組む。その後、練習曲、イタリア歌曲、その他の外国語歌曲やオペラアリアなどを扱っていきます。なぜ外国語の歌から始めるのかを歌うことで理解し、日本語の歌に移ります。
- メッセージ:** いい声を生まれつき持っているのは恵まれたことですが、それだけでよい歌が歌えるわけではないし、良い声を作るための技術が発声法です。主に歌声について学んでいきますが、もちろん普段の話し声にも役立ちます。楽しく腹の底から声を出しましょう。

『情報通信・ネットワークを知ろう』 はねふち ひろまさ 羽瀧 裕真 原則毎月第2または第3土曜日9時30分～



- 概要:** 最近では、データ駆動社会、Society5.0、Web3.0、DX、AIなどという言葉が未来社会を見据える上で重要なキーワードになっています。これからのキーワードについて、理解を深めます。このゼミでは、毎回、1つ程度の話題を提供し、話し合いながら理解を深めていきたいと思います。
- 計画:** 第1回目に、キーワードをピックアップします(例えば、IoT、5G、光無線通信、Web検索、Web3.0、データサイエンス、フィルターバブル、Webマーケティング、ハッシュ関数、バイアスなど)。毎回のゼミでは、その日のキーワード(またはパスワード)に関する話題を提供し、考えを可視化しながら討論します。
- メッセージ:** 言葉は時代とともに変わりますので、その言葉により今を知り、未来を創造/想像できるかもしれません。空想の馳せる限りに思いめぐらしてみましよう。知っている言葉も知らない言葉も楽しみながら理解を深めましよう。

『「香道真伝」を読む』 ほりぐち さとる 堀口 悟 原則毎月第3土曜日9時30分～



- 概要:** 江戸時代後期の著名な香道書『香道真伝』(関親卿著)を、江戸時代前期の香道書『香道明鑑』(飯尾善十郎著)や中期の『香道軒の玉水』等の大枝流芳著作の諸香道書と比較しながら読み進める。『香道真伝』を味読することで完成期の香道の姿を知ると共に、他の時期の香道書と比較することで香道の栄枯盛衰を垣間見たい。
- 計画:** 『香道真伝』の「上巻」(香道発端、志野流香家の伝、香道大意、十組香の習)は、江戸時代香道伝書の到達点を示す高度な内容を持ちながら、初心者でも理解できる「やさしい香道案内」でもある。この上巻を1年かけてじっくり読み解いて行く予定である。
- メッセージ:** 本ゼミ担当者(堀口)は、香道および平安時代文学の研究者であり、志野流香道師範でもあります。ゼミ員の皆さんと共に『香道真伝』を読むだけでなく、関連する「香」も鑑賞して、「手触りのある」ゼミにしてゆきたいと思っています。

『幸福について考える』 わたなべ くにお 渡邊 邦夫 原則毎月第2日曜日9時30分～



- 概要:** 西洋哲学の幸福にかんする考えを、古代ギリシャと現代のいくつかの立場をみながら検討します。その検討のなかで、周りの人と自分の関係や、「うまくいくこと」と「本当の幸福」の関係などについて、自分でこれまで考えてきたことを表現したり、より明確にしたりすることにより、今後の人生が味わいをもつようにしたいと思っています。
- 計画:** 短いテキストを読んで西洋哲学の幸福論にふれて、人生にどう生かせるか考えるという授業をします。扱う哲学者はセン、ヌスバウム、ネーゲル、フラインバーグなど現代の議論と、プラトン、アリストテレスから選びます。生活実感に近い問題から入りますから哲学の学習経験がなくとも大丈夫。質問と意見交換に時間を割きます。
- メッセージ:** 「幸福の専門家」はいません。全員が人生の主役で、全員が自分の幸福の責任者です。でも人は迷いも後悔も多いので、哲学者の提言に触発されて問題を整理して考える機会にも、ほかでは得られない独自の価値があります。

サークル紹介

茨城学習センターでは、現在 12 サークルが活動しています。興味のある方、入会希望の方は、各サークル代表者または学習センター窓口までご連絡ください。

放送大学茨城学習センター Tel: 029-228-0683



パソコンクラブ



パソコン・スマホを通じて親睦と情報技術を楽しむことを主目的としています。

●午前：パソコン・カフェを開設、個別相談、情報交換。(平常時のみ実施)

●午後：年度計画で決めたテーマでの勉強会を開催。

◀午後の勉強会
(茨城学習センター3階実習室)

【最近1、2年の活動内容】

対面で活動できない時期には Zoom を使ったオンライン勉強会を実施。

◇放送大学バーチャルキャンパスへの誘い ◇Zoomの使い方
◇5G本格始動 ◇IoTの現状と今後 ◇セキュリティ ◇クラウド・AI・VR
◇メルカリ ◇電子マネー ◇Excelを使ったやさしい統計 ◇Excelの
マクロ機能 ◇Instagram等。Zoom初心者の方には個別相談に応じます。
皆さまのご参加をお待ちしています。

●活動日：月1回(主に日曜日)
7月、1月休み
会員数：30名
会費：年会費1,000円
代表者：網谷

ふるさと探勝会



豊かな自然と気候風土に恵まれたふるさと茨城やその近隣各県の町や村には貴重な文化財・史跡が数多くあります。永い時を刻んだ歴史遺跡や美しい自然を訪ねるたびに驚きや新しい発見があります。

◀牛久めぐり(第72回例会)

平成11年発足した会も今年79回を数えました。毎回40名程が参加され、主に大型バスを利用しています。学ぶ仲間と楽しく語らいながら、魅力ある茨城と近隣の歴史・自然を探索してみませんか。ご参加をお待ちしております。
(この1年の活動：コロナ禍のため活動を休止しています。収まれば再開します)

●活動日：年3~4回、
主に日曜日、日帰り
会員数：42名
会費：1,500円
代表者：吉村

英会話クラブ



英語は毎日の生活に欠かせません。楽しみながら、英語感覚を絶やさないように心がけています。また、会員相互の親睦も大切にしています。

◀香港の若者たちとの懇談の
ひとコマ(2017年6月)

茨城大学の山上敦子准教授が指導されます。日本語も混じえながら、趣味や経験をグループで話し、またスクラブル等のゲームで遊び、時事の話題も取り上げます。大切な英語表現や発音はきちんと抑えます。2020年度以降、コロナの状況に合わせて Zoom を用いたオンライン会議形式も増えていますが、状況が改善すれば再び、オープンキャンパスでのクラス開放、年2回の楽しい「Drink & Dinner Party」などもやります。コロナ以前は、米国・香港へのツアーや他センターとの交流を行って来ました。

英語の実力は問いません。学習センター事務室で随時受け付けています。

●活動日：毎月第1日曜日
13:30~15:30
会員数：21名
会費：3,000円(半年1,500円)
代表者：田辺

ゴルフサークル



茨城学習センターの『ゴルフ・サークル』は、10年余りの歴史を有し、スポーツ系のサークルとしては唯一の存在です。ゴルフ・コンペを、毎月の第2水曜日に水戸近辺の様々なゴルフ場にて、4~5組で開催しています。

◀2020.3.2 第101回大会
(於：富士カントリー笠間倶楽部)

ベテランも初心者も一緒に、サークル内で決めたハンディ・キャップに基づき、楽しみながら順位を競っています。水戸周辺では、プレー費用も平日で安く、更に学生優遇で『ゴルフ場利用税』が非課税になります。また、他県のゴルフサークルとの交流大会も行っています。ゴルフを楽しみながら、心身共に健康維持に努め、学生相互のコミュニケーションを持つ絶好の機会です。初心者からベテランの方々、興味のある方は是非ご参加下さい。学習センター事務室で受け付けています。

●活動日：毎月第2水曜日に
月例コンペ開催
会員数：17名
会費：年会費500円
コンペ参加費500円
代表者：原

未来環境クラブ



最近、持続可能な開発目標(SDGs)というコトバをよく耳にしませんか? 未来環境クラブでは、SDGsをキーワードに私たちの生活、地球、宇宙に至るあらゆる環境(自然環境、社会環境、etc...)について、メンバーの興味に沿って、あらゆる切り口で学び、発表する機会を提供します。原則、オンラインで活動しています。

●活動日：毎月1回
会員数：12名
会費：令和4年度はなし
代表者：玉置



生物・微生物サークル



微生物の世界

私たちの身近にある微生物はとても小さいのですが、その動きは想像を超える力を発揮しています。共に考え微生物のワールドを探究いたしましょう。

●活動日：原則毎月1回
13:30~15:30
会員数：12名
会費：無料
代表者：岡島

数学共楽会

(The Society of Enjoyable Mathematics)



▲「R 統計学」ご指導の塩見先生
(前列右2人目)とメンバー

- (1)『初歩からの数学』高校数学から大学数学へ橋渡し!! ゆっくり勉強!
(講師: 山下・幹事: 小川)
- (2)『初歩の統計』ゼミ(御指導 塩見先生・講師: 竹内・幹事: 竹内)
*2020年再再新スタート
- (3)『実用統計学ゼミ』(御指導 塩見先生・幹事: 山口) 本ゼミは金明
哲「Rによるデータサイエンス」を終えて、ベース統計に移り、教
材「心理統計法」を学習。尚、本ゼミは中級者向けゼミです。

●活動日: 月1回(HPで紹介します)

<https://sites.google.com/a/yokappe.net/mathematics310>

会員数: 24名

会費: 無料

代表者: 山下

2004年スタートの塩見先生
ご指導の統計学のメンバーが
中心となり、数学の初歩を共
に楽しく学ぶための「数学共
楽会」が2008年10月に発足
し、3つのグループで活動し
ています。特に2016年度は
発足理念に基づき『初歩から
の数学』。さらには、2018年
は「初歩の統計」も新たに再
開し、2020年度よりRプロ
グラム学習が再スタートしてい
ます。

物理と天文サークル



物理に興味のある人達、
また天体観測に興味のある
人達のサークルです。

◀初めてのZoomオンラインでの
写真撮影(コロナ禍で開催した
オンラインミーティング)

平成30年度からサークルとして活動を始めており、初年度は前茨
城学習センター長の横沢先生のご指導のもと「宇宙の科学」(江里口
著)の輪講、さらに2回の観望会開催を行いました。令和4年度は「量
子力学」(朝永振一郎著)の輪講と数回の天体観望会を予定していま
す。サークルとしては、いろいろな専門分野の人が入会し多様で新
鮮な「ものの見方」が加わりさらに活性化されることを望んでいます。

放送大学生の方ならどなたでも入会を大歓迎します。なお、令和
3年度よりオンラインでの活動を行っています。

●活動日: 原則毎月第3土曜日
9:30~11:30

会員数: 14名

会費: 無料

代表者: 石田(紀)

香り文化サークル



▲2022年1月 県立歴史館茶室無

当サークルでは、日本の
香り文化を中心としながら
も、多岐に亘って広く香り
文化を探求しています。

今年度もコロナ禍の為学習セ
ンター入講規制により満足な活
動ができませんでした。活動の
一端をご紹介します。王朝
文化伝統の薫物(たきもの)に
ついて研究して再現したり、江
戸時代の「香り文献」を読ん
だりします。

変わったところでは、江戸文化の薫りを楽しむために、紅白に分
かれて投扇興に興じたりします。

令和4年新年には県立歴史館内の本格茶室無庵にて露地と茶室に
て茶道に親しましました。皆さまのご参加をお待ちしています。

●活動日: 基本毎月第3土曜日

会員数: 10名

会費: 3,000円

代表者: 黒澤

フィットセラピーサークル



Phytotherapie は日本語
で植物療法と訳されます。
植物の力を心身の健康・美
容のために役立てる知識を
学び、実践するサークルで
す。

季節のトラブルに対処するハーブやスパイスの利用、精油を使っ
たクラフトや化粧品、石けんなどを作ります。作ることは楽しく、
またご自身のために手作りのものを使うのはとても贅沢な体験
です。

緑の葉箱について一緒に学んでみませんか? 学生の皆様のご参加
をお待ちしております。男性学生も是非どうぞ。

●活動日: 月1回
原則第1日曜日

会員数: 7名

会費: 製作物の材料費(1,000円以下)

代表者: 石田(裕)

食と農と環境を考える会



中島紀一客員教授の
「中島ゼミ」が2017年3月
で終了するのを惜しみ、学
生サークルとして2017年度
から活動を継続することに
しました。

◀有機農法塾の見学

「食・農・環境」この3つは密接に関連していて、日本だけでなく
人類の今後の大きな課題です。というとし難いですが、顧問の中
島紀一先生の広い学識と温かい人柄を受けて、さまざまな分野に興
味と関心をもって考えていきます。

会員の日頃の活動内容の発表や中島先生の講義のほか、年に数回
は有機農法の見学など現地研修にも出かけます。

●活動日: 月に1回、
主に火曜日10:00~

会員数: 10名

会費: 1,000円

代表者: 杉本

合唱クラブ(Chorus iOU)



令和の始まりと同時に誕
生した新しいサークルです。
茨城大学教育学部音楽科の
谷川佳幸先生(演奏学)が
本学習センターの客員教授
に就任されたのをきっかけ
に結成されました。

活動日は先生のゼミの終了後に設定されています。ゼミでは発声
の基礎が徹底して鍛えられますので、合わせて参加されることをお
薦めします。

愛称はChorus iOUです。iはもちろん「茨城」から、OUは"Open
University"から取りました。まだ少数人数ですので、谷川ゼミとも
どもぜひご参加ください。ともに練習を重ねてよいハーモニーを築
いていきましょう。

●活動日: 原則毎月1回(谷川ゼミ終了後)
15:40~16:40
(当面、谷川ゼミと合同で練習します)

会員数: 11名

会費: 年間500円

代表者: 佐藤(和)

スケジュール

4月

- 1日(金) 第1学期放送授業開始
集中科目履修生募集要項配布開始(司書教諭)
- 2日(土) 入学者の集い
- 5日(火) 第1学期オンライン授業開始
- 16日(土) 第1学期面接授業開始(～7/31)
第1学期面接授業(追加登録)空席発表
ライブラリー講演会(小野寺 淳 所長)
- 21日(木) 第1学期面接授業追加登録受付開始(～7/17)

5月

- 1日(日) 第1学期ライブ Web 授業開始
集中科目履修生受付・在学生科目登録開始(司書教諭：～5/31)
- 9日(月) 第1学期通信指導提出開始(学部・大学院：～5/31)※Webによる提出の場合
- 16日(月) 第1学期通信指導提出開始(学部・大学院：～5/31)※郵送による提出の場合
- 21日(土) ライブラリー講演会(伊藤 聡 先生)
- 31日(火) 集中科目履修生受付・在学生科目登録終了(司書教諭)

6月

- 10日(金) 第2学期募集要項配布開始
第2学期出願受付開始(第1回：～8/31)
- 12日(日) 卒業研究ガイダンス(Web)
- 18日(土) ライブラリー講演会(羽瀧 裕真 先生)

事務室からのお知らせ

放送大学茨城学習センター 開所時間

(12時から13時は事務室・図書室を閉室します)

火～日 9:00～12:00
13:00～17:30

※4月から視聴覚・図書館の
開所時間に変更となりました

火～日 9:30～12:00
13:00～17:00

学生証の発行について

学生証は、顔写真がシステムWAKABAに登録された後、茨城学習センターにおいて発行されますので、2階事務室窓口で交付を受けてください。受け取りの際は入学許可書(新入生)、有効期限の切れた学生証(在学生)をお持ちください。感染症防止対策のため、できる限り郵送での交付をご利用ください。下記を同封のうえ郵便で申請してください。

- 入学許可書のコピー(新入生のみ)
- 身分証明書(運転免許証等顔写真のあるもの)のコピー(新入生のみ)
- 有効期限の切れた学生証(在学生のみ)
- 返信用封筒(宛名を明記し、404円分の切手を貼付)※簡易書留で郵送します

職員異動のお知らせ

令和4年4月より新
ようしく願います

総務・会計主任 鴨志田 功
学 生 担 当 菊地 夕子

3月に退職しました
お世話になりました

総務・会計主任 長谷川 照晃
学 生 担 当 薄井 貴子

